

令和5年度 仙台市立高森中学校

第3学年

学習シラバス



3年__組__番 氏名_____

この冊子の使い方

この冊子は、令和5年度の高森中学校での学習計画や評価の方法などを教科ごとに掲載したものです。これを参考にしておおよその1年間の見通しを立て、計画的に学習に取り組みましょう。

※ただし、あくまでも予定なので、実際の進み方とずれることもあります。なるべく余裕を持った見通しを立てましょう。

◇ 1, 2年生は……

1, 2年生は学習計画をもとに、月ごとの学習計画を立ててみましょう。さらに行事予定を見ながら、定期考査に向けての準備もしっかりやっておきましょう。

学習は毎日の積み重ねが大切です。1, 2年のうちに毎日計画的に机に向かう習慣をしっかり身に付けておきましょう。

◆ 3年生は……

3年生は、3年生で習う学習と同時に1, 2年の復習も必要になってきます。バランスを考えながら、受験に備えてしっかりとした計画を立てましょう。

国語科 第3学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
国語3（光村図書）	国語の学習3（明治図書） 積み上げ国語3（明治図書）

1. 目標

- ・読解や表現活動を通して確かな言語能力を身に付ける。
- ・表現する楽しさを味わわせ、自分の思いを適切な言葉で表現することができる。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい	
1 学 期	4	世界はうつくしいと 握手	<ul style="list-style-type: none"> ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・文章の種類を踏まえて、物語の展開の仕方などを捉えることができる。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 	
	5	学びて時に之を習ふ ——「論語」から 作られた「物語」を超えて	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ・文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えることができる。 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 	
	6	説得力のある構成を 考えよう スピーチで社会に思 いを届ける 文法への扉1 すいかは幾つ必要？	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 ・自分の立場や考えを明確にし、相手に説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 	
	7	俳句の可能性 俳句を味わう 言葉1 和語・漢語・ 外来語	<ul style="list-style-type: none"> ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 	
	8	挨拶 ——原爆の写真によ せて	<ul style="list-style-type: none"> ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・詩の構成や表現の仕方について評価することができる。 ・詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 	
	9	故郷	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 	
	2 学 期	10	人工知能との未来 人間と人工知能と創 造性	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと

		<p>多角的に分析して書く</p> <p>説得力のある批評文を書く</p>	<p>できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。 ・表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。
11	<p>合意形成に向けて話し合おう</p> <p>課題解決のために会議を開く</p> <p>君待つと</p> <p>——万葉・古今・新古今</p> <p>夏草</p> <p>——「おくのほそ道」から</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ・進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。 ・和歌の表現の仕方について評価することができる。 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。
12	<p>古典名句・名言集</p> <p>誰かの代わりに</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けると通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。
1	<p>温かいスープ</p> <p>わたしを束ねないで</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。
2	<p>三年間の歩みを振り返ろう</p> <p>漢字に親しもう</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。 ・情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く。 ・提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。
3	<p>学習を振り返ろう</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期テスト、単元テスト、小テスト、ノート及び提出物の点検 等
思考・判断・表現	定期テスト、単元テスト、小テスト、スピーチ、弁論、作文 等
主体的に学習に取り組む態度	観察、ノート・ワークの取り組み、自己評価カード 等

社会科 第3学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
歴史：中学生の歴史【帝国書院】 公民：新しい公民【東京書籍】	歴史：社会の自主学習 歴史2・3【新学社】，ビジュアル歴史【東京法令出版】 公民：新しい公民【浜島書店】，よくわかる社会の学習公民【明治図書】 Wプリント評価3年【新学社】

1 目標

- (1) 歴史的事象に対する関心を高め，近代以降の歴史の大きな流れを理解できるようにする。
- (2) 人権，政治，経済に関する理解を深め，現代社会に見られる課題の解決に対し，主体的に関わることができるようにする。

2 学習計画

	月	題材名	学習のねらい			
1 学 期	4	【歴史】第5章 二度の世界大戦と日本 1 第一次世界大戦と民族独立の動き 2 高まるデモクラシーの意識 3 戦争に向かう世論 4 第二次世界大戦の惨禍	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦が起こったことや，その影響を理解することができる。 ・本格的な政党内閣による政党政治が展開するなど，民主主義の動きが進んだことを理解することができる。 ・軍部が台頭して中国との戦争が長期化した経緯を理解することができる。 ・大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたこと，国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であることを理解することができる。 			
		【歴史】第6章 現在に続く日本と世界 1 敗戦から立ち直る日本 2 世界の多極化と日本の成長 3 これからの日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連合の発足や冷戦の始まりなど，国際情勢の変化を理解することができる。 ・戦後の日本が経済や科学技術の発展を遂げて，世界有数の経済大国に成長したこと，石油危機が及ぼした影響などを理解することができる。 ・冷戦終結後の国際協調と平和外交の推進を通して，国際社会における日本の役割を理解することができる。 			
		【公民】現代社会と私たちの生活 1 現代社会の特色と私たち 2 わたしたちの生活と文化 3 現代社会の見方や考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の特色であるグローバル化，情報化，少子高齢化など，その影響について理解することができる。 			
		【公民】個人の尊重と日本国憲法 1 人権と日本国憲法 2 人権と共生社会 3 これからの人権保障	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解することができる。 			
	8	9	【公民】現代の民主政治と社会 1 現代の民主政治 2 国の政治の仕組み 3 地方自治と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・議会制民主主義や住民自治の意義，選挙等を通して，主権者としての政治参加の在り方について考えることができる。 ・民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に関わろうとすることができる。 		
			2 学 期	10 11	【公民】私たちの暮らしと経済 1 消費生活と市場経済 2 生産と労働 3 市場経済の仕組みと金融 4 財政と国民の福祉 5 これからの経済と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・市場経済の基本的な考え方を理解し，現代の生産や金融などの仕組みや働き，企業の役割と責任について考えることができる。 ・市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に関わろうとすることができる。 ・国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとすることができる。
	12	1 2			【公民】地球社会と私たち 1 国際社会の仕組み 2 ささまざまな国際問題 3 これからの地球社会と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会が抱える諸課題についての国際的な努力や，世界平和の実現と人類の福祉の増大のために各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことが重要であることを理解することができる。
					3	【公民】よりよい社会を目指して 持続可能な社会を実現するための探究活動

3 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	・定期考査 ・単元テスト ・ワーク等の取組状況とその内容 ・ノート，レポートの記述内容
思考・判断・表現	・定期考査 ・単元テスト ・授業での発言，発表内容 ・ワーク等の取組状況とその内容 ・ノート，レポートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・授業での発言，発表内容 ・ノート，レポートの記述内容 ・単元振り返りシートへの記述内容

数学科 第3学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
新しい数学3（東京書籍）	クリアノート3（浜島書店） 新観点別評価 単元1回 数学3（明治図書出版）

1. 目標

- ・数量や図形などについての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を身に付けよう。
- ・数学的な活動の楽しさ、数学の良さを実感して、粘り強く考え、数学を生活に生かそうとする態度を身に付けよう。
- ・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付けよう。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学期	4	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の学習の心構え、授業での約束事などを確認する。 ・単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。 ・簡単な1次式の乗法の計算及び式の展開や因数分解をすることができる。 ・既に学習した計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解する方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係を捉え説明することができる。
	5	1章 多項式 1節 多項式の計算 2節 因数分解 3節 式の計算の利用 章の問題	
	6	2章 平方根 1節 平方根	
	7	2節 根号を含む式の計算 3節 平方根の利用 章の問題	
	8	3章 2次方程式 1節 2次方程式とその解き方 2節 2次方程式の利用 章の問題	
2 学期	9	3章 2次方程式 1節 2次方程式とその解き方 2節 2次方程式の利用 章の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・数の平方根を具体的な場面で活用することができる。 ・2次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。 ・平方の形に変形し2次方程式を解くことができる。 ・解の公式の意味を理解し、それを用いて2次方程式を解くことができる。 ・因数分解を利用して2次方程式を解くことができる。 ・事象の中の数量やその関係に着目し、2次方程式をつくることができる。 ・平方根や因数分解の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し、表現することができる。 ・具体的な問題の解決に2次方程式を活用し、解が適切であるかどうかを判断することができる。
	10	4章 $y = ax^2$ 1節 関数 $y = ax^2$ 2節 関数 $y = ax^2$ の性質と調べ方 3節 いろいろな関数の利用 章の問題	
	11	4章 $y = ax^2$ 1節 関数 $y = ax^2$ 2節 関数 $y = ax^2$ の性質と調べ方 3節 いろいろな関数の利用 章の問題	
	12	5章 相似な図形 1節 相似な図形 2節 平行線と比 3節 相似な図形の面積と体積 章の問題	
	1	5章 相似な図形 1節 相似な図形 2節 平行線と比 3節 相似な図形の面積と体積 章の問題	
	2	5章 相似な図形 1節 相似な図形 2節 平行線と比 3節 相似な図形の面積と体積 章の問題	
	3	6章 円 1節 円周角の定理 2節 円周角の定理の利用 章の問題	
		7章 三平方の定理 1節 三平方の定理 2節 三平方の定理の利用 章の問題	
		8章 標本調査 1節 標本調査 章の問題	
		8章 標本調査 1節 標本調査 章の問題	

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期テスト、単元テスト、小テスト、発表・発言、観察等
思考・判断・表現	定期テスト、単元テスト、論述やレポートの作成、発表・発言、グループでの話し合い、観察等
主体的に学習に取り組む態度	授業中の挙手・発言、課題への取組、観察、提出物（ワーク、宿題、ノート、自己評価カード「学びの足跡」など）の状況等

理科 第3学年 学習の手引き (シラバス)

使用教科書	使用副教材
新しい科学3 (東京書籍)	ワーク : よくわかる理科の学習3 (明治図書)

1. 目標

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学期	4	<u>単元1 化学変化とイオン</u> 第1章 水溶液とイオン	<ul style="list-style-type: none"> ・炭酸飲料や電池, ヒトの体内など, 身のまわりには自然や人工物に関わらず, イオンが多く含まれている。イオンとは何かを探り, イオンの利用について学ぶ。 ・イオンの存在を知り, イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを知る。 ・酸とアルカリを混ぜると, 水と塩が生成することを理解する。
	5	第2章 酸, アルカリとイオン	
	6	第3章 化学変化と電池	<ul style="list-style-type: none"> ・現在見られる生物の中には, 過去の生物と形が似ているものもあれば, 違うものもいる。過去の生物から現在の生物まで, 生命の連続性や変遷について学ぶ。 ・有性生殖と無性生殖の違いを進化と関連付けて理解する。 ・生物の生殖と遺伝の仕組みや規則性を理解し顕性の法則や分離の法則を理解する。
	7	<u>単元2 生命の連続性</u> 第1章 生物の成長と生殖	
	8	第2章 遺伝の規則性と遺伝子 第3章 生物の多様性と進化	
9	<u>単元3 運動とエネルギー</u> 第1章 物体の運動 第2章 力のはたらき方	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりには運動している物体が様々ある。中には他の物体に影響を与えることもある。運動する物体の性質や物体のもつエネルギーについて学ぶ。 ・物体が力を受けるときの運動や, 力を受けないときの運動について観察, 実験を行い, それぞれの運動の特徴を見出し, 等速直線運動や落下運動の特徴を理解する。 ・物体が力を受けるときの運動や, 力を受けないときの運動について観察, 実験を行い, それぞれの運動の特徴を見出し, 等速直線運動や落下運動の特徴を理解する。 	
2 学期	10		第3章 エネルギーと仕事 <u>単元4 地球と宇宙</u>
	11	第1章 地球の運動と天体の動き	
	12	第2章 月と金星の見え方 第3章 宇宙の広がり	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙の広がりや天体について調べ, 地球と宇宙について学ぶ。 ・日周運動と年周運動による太陽や恒星の動きを正確に理解する。季節の変化と地球の運動との関係について理解する。 ・月の満ち欠けと惑星の見え方を, 軌道図を使って理解する。 ・太陽系の構造をとらえ, 宇宙全体の構造について知る。
	1	<u>単元5 地球と私たちの</u> 未来のために	
	2	第1章 自然のなかの生物 第2章 自然環境の調査と保全 第3章 科学技術と人間	
3	終章 持続可能な社会をつくる ために	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術の進歩とともに豊かな社会になったが, 自然環境を大きく変化させてきた。豊かな自然や資源を次の世代に引き継ぐために何かできるかを学び, 考える。 ・自然界における炭素の循環について理解する。 ・自然環境の保全と科学技術の利用の在り方を科学的に考察し, 持続可能な社会を目指すことが重要であることを認識する。 ・自然がもたらす恵みや災害について考察する。 ・科学技術の進歩によって日常生活が豊かになったことを知り, これからの科学技術の可能性を考察する。 ・持続可能な社会をつくるためにはどのようなことを心掛けるか考察する。 	

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期テスト, 実験レポート (グラフや作図など), 単元テスト など
思考・判断・表現	定期テスト, 単元テスト, 実験レポート, 授業中の発表 など
主体的に学習に取り組む態度	授業中の発言・発表, 課題への取り組み(実験レポート, ワーク, ノート, 振り返りシート) など

第3学年 英語

使用教科書	使用副教材
NEW HORIZON English Course 3 (東京書籍)	<ul style="list-style-type: none"> ・ EIGO NO PARTNER (正進社) ・ 積み上げ (明治図書)

1. 目標

- ・ 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- ・ 英語を聞いたり読んだりして、内容を理解することができる。
- ・ 英語を話したり書いたりして、自分の考えを伝えることができる。
- ・ 言語や文化に対する理解を深め、国際社会に興味関心を持つことができる。

2. 学習計画

月	題 材	主な言語材料	学習のねらい
4	<ul style="list-style-type: none"> ○Unit 0 ○Three Interesting Facts about Languages ○学び方コーナー① 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受け身形 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでに学んだことを使って、世界で話されている言語について書かれたレポートの情報を読み取ったり、行ってみたい国とそこで話されている言語について伝え合って書いたりすることができる。 ○英語の語いや表現を増やすために、英語の語の仕組みや性質について知る。
	<ul style="list-style-type: none"> ○Unit 1 ○Let's Write 1 有名人への手紙 ○Let's Listen 1 ○ディスカッション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在完了形 (経験用法) ・ make A B ・ SVOO (that 節) 	<ul style="list-style-type: none"> ○障がい者スポーツについての理解を深め、人々を結びつけるスポーツの力について考える。 ○これまでに経験したことにもとづいて、相手に合ったプランを伝えることができる。 ○気持ちを伝えるために、表現方法を工夫しながらファンレターを書くことができる。
5	<ul style="list-style-type: none"> ○Unit 2 Let's Talk 1 はじめての出会い ○Grammar for Communication 1 Learning SCIENCE in English 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在完了形 (完了用法) ・ 現在完了形 (継続用法) ・ 現在完了進行形 	<ul style="list-style-type: none"> ○海外でも愛される日本の伝統文化の魅力を知り、言語や文化のちがいについて考える。 ○ずっと好きなことや、これまで取り組んできたことについて伝え合うことができる。 ○初対面の相手に配慮しながら、歓迎する気持ちを伝えることができる。
6	<ul style="list-style-type: none"> ○Unit 3 ○Let's Write 2 記事への意見 ○Grammar for Communication 2 ○学び方コーナー② ○Stage Activity 1 My Activity Report 	<ul style="list-style-type: none"> ・ It is for 人 to 動詞の原形 ・ want 人 to 動詞の原形 ・ let 人 動詞の原形 	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の絶滅のおそれのある動物について知り、自分たちにできることを考える。 ○自分の意見や考えを加えて記事を書くことができる。 社会的な話題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。 ○これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。
7	<ul style="list-style-type: none"> ○Let's Read 1 ○A Mother's Lullaby ○Let's Listen 3 ラジオの災害情報 		<ul style="list-style-type: none"> ○物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちをこめて音読することができる。 ○災害情報を聞き、どう行動すればよいかを理解することができる。

9 10	<ul style="list-style-type: none"> ○Unit 4 ○Let's Talk 2 町中での手助け ○Learning CIVICS in English ○Let's Listen 4 テレビの国際ニュース 	<ul style="list-style-type: none"> ・間接疑問文 ・動詞＋（人）＋ what 節 ・後置修飾(現在分詞・過去分詞) 	<p>防災・安全への関心を高め、地域の一人として防災に取り組む意識を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○標識が何を意味しているかを説明することができる。 ○相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。 ○選挙と投票について考えを深めるために、投票率に関する資料から読み取ったことを伝え合ったり、身近な話題について公約を考えて発表したりすることができる。 ○ニュースなどのテレビ番組の音声を聞いて、概要や要点を理解することができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ○Unit 5 ○Let's Write 3 グラフや表の活用 ○Grammar for Communication 3 ○Stage Activity 2 ○Discover Japan ○Let's Listen 5 世界で働く人へのインタビュー 	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞を修飾する文 ・関係代名詞 who ・主格及び目的格の関係代名詞 which (that) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ガンディーの功績を知り、平和や人権の大切さを考える。 ○人やものについて詳しい情報を加えて説明することができる。 ○資料から読み取った情報について、事実と意見を分けて書くことができる。 ○後置修飾を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 ○日本や郷土の文化などを紹介する文を、詳しい情報を加えながら書くことができる。 ○人物の経歴を聞いて、概要を理解することができる。
11 12	<ul style="list-style-type: none"> ○Unit 6 Let's Talk 3 食品の選択 ○Grammar for Communication 4 ○Let's Listen 6 中学校生活の思い出 ○Stage Activity 3 ○Let's Have a Mini Debate 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法 (I wish ~) ・仮定法 (If + 主語 + were) 	<ul style="list-style-type: none"> ○国をこえて助け合う大切さを知り、自分に何ができるのかを考える。 ○架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりすることができる。 ○相手の意見を受けて自分の主張を述べることができる。 ○仮定法を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 ○スピーチを聞いて、話の概要を理解することができる。 ○主張とその理由を明確にしなが、ディベートをすることができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ○Let's Read 2 Power Your Future ○Let's Read 3 A Graduation Gift from Steve Jobs ○学び方コーナー③ 		<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べることができる。 ○スピーチの原稿を読んで、内容の要点を理解し、自分の言葉で伝えることができる。 ○自分に合った英語の学習方法を見つけて、楽しく英語を学び続けるきっかけを作る。

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期テスト、単元テスト、小テスト、パフォーマンステスト、発表・発言、観察等
思考・判断・表現	定期テスト、単元テスト、発表・発言、ペアワーク、グループワーク、パフォーマンステスト、観察等
主体的に学習に取り組む態度	授業中の挙手・発言、課題への取組、観察、提出物（ワーク、宿題、ノートなど）の状況等

音楽科 第3学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
中学生の音楽2・3下 (教育芸術社)	中学生の音楽ワークブック2・3下 (正進社)

1. 目標

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けよう。
- ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴こう。
- ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を身に付けよう。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学 期	4	オリエンテーション	・1年間の予定を知る。授業時の約束を確認する。
	5	鑑賞 「世界の諸民族の音楽」	・わが国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解することができる。
	6 7	合唱コンクール選曲 合唱練習 校内合唱コンクール	・歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割や旋律の音の動きを理解し、全体の響きを感じ取りながら表現を工夫して合唱することができる。
	8 9	鑑賞 「ブルタバ」 「ボレロ」他	・各標題を聴き、気付いたことや感じたことを話し合うことができる。 ・楽曲がつくられた時代的・歴史的背景について理解することができる。 ・オーケストラの楽器の特徴を理解し、独特の響きを感じ取ることができる。
2 学 期	10	心の歌「花」 「花の街」	・言葉の意味や詩の内容を理解し、情景を思い浮かべながら歌うことができる。 ・日本語のもつリズムや抑揚と旋律との関わりを感じ取ることができる。
	11	「早春賦」	
	12	Let's Create!	・音の特徴や重なりを感じて、音楽活動に親しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組むことができる。
	1	器楽（AR） エーデルワイス、浜辺	・アルトリコーダーの扱い方や指遣いなどについて理解することができる。 ・タンギングの正しいやり方を習得する。
	2	の歌、その他	・適切な息の量などを考えて吹くことができる。 ・いろいろな曲を吹くことができる。
	3	能「敦盛」 尺八曲「巢鶴鈴慕」	・日本の古典芸能に親しみ、音楽表現の共通性や固有性などについて考えることができる。 ・音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを感じ取ることができる。
			歌唱 卒業式の歌 校歌（四部合唱）

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	実技テスト、ワークシート、発表、発言、観察等
思考・判断・表現	実技テスト、ワークシート、グループ（パート）での話し合いや意見交換、取組等
主体的に学習に取り組む態度	授業中の挙手、発言、取組、振り返りカード、提出物等

美術科 第3学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
美術2・3下（日本文教出版）	美術資料 宮城の美（秀学社）

1. 目標

- ・造形的な視点を持ち、自分の表現方法を追求し、創造的に表現することができるようにする。
- ・感性や想像力を働かせて、独創的で豊かな発想を練ったり、美術に対する考える方を深めたりする。
- ・創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学 期	4	私との対話 ～表すことで見 えてくる自分自 身～ 絵画 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を見つめ、自分の気持ちや性格、夢や思い出などについて考え、主題を生み出す。 ・現代社会の抱える問題や課題をとらえて表現した美術作品を鑑賞し、着重点や表現方法の工夫などを感じ取り理解することができる。 ・主題を基に構図、色彩などを検討し、構想を練ることができる。 ・材料や用具、表現方法を工夫して、主題が表現できるように制作することができる。 ・友だちの作品を鑑賞し、その思いや意図、表現の工夫を感じ取り、話し合うことができる。
	5		
	6		
	7		
	8	9	刻まれた祈り 鑑賞
2 学 期	10	イメージを心の 面で表現しよう 彫刻 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・立体による塊や動きの表現に関心を持つ。 ・塊から感じる存在感、形から感じる動きを考えた表現の構想を練る。 ・自分の表現意図に合った方法を工夫して表す。
	11	日本美術の展開 と世界との交流 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・日本美術の流れを、中国や西洋との交流という視点から読み取り、日本美術の独自性や影響関係を知ることができる。 ・好きな日本美術の作品を選び、その良さ、美しさを周りの人に伝えることができる。
	12		
	1		
	2	3	手作りを味わう 喜び 彫刻 工芸 鑑賞

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	授業の取組、ワークシート、クロッキーブック、作品
思考・判断・表現	授業の取組、ワークシート、クロッキーブック、作品
主体的に学習に取り組む態度	授業の取組、ワークシート、クロッキーブック、作品

保健体育科 第3学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
新しい保健体育（東京書籍）	学習ノート（東京書籍） ステップアップ中学体育（大修館書店）

1. 目標

- ・運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践できるようにするため、運動、体力の知識や、基本的な技能を身に付けよう。
- ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けた思考・判断をするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養おう。
- ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとする意欲を育てよう。
- ・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養おう。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学 期	4	オリエンテーション ・ 集団行動	・ 保健体育の学習の心構え、授業での約束事などを確認する。 ・ 集団で規律ある行動を効率よく取れるようにすることで、学校生活や緊急時に生かせるようにする。
	5	・ 体づくり運動（体ほぐし） * 体力テスト	・ 体を動かす楽しさや心地よさを味わう。
	6	・ 球技① ・ 水泳	・ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。 ・ クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライのうち、複数の泳法で泳ぐ、又はリレーをする。
	7	保健第5章	・ 健康と環境について理解を深める。
	8		・ 健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考・判断するとともに、それら表現する。
	9	体育編第3章	・ 文化としてのスポーツの意義について学ぶ。
2 学 期	10	・ 陸上競技	・ 練習法を工夫してよい動きやフォームを身に付け、自己の記録に挑戦する。
	11	・ 球技②	・ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。
	12	・ 球技③	・ 基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開する。
	1	保健第6章	・ 健康な生活と疾病の予防について理解を深める
	2		・ 健康な生活と疾病の予防について、その解決に向けて思考・判断するとともに、それら表現する。
	3		

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	授業中の取組、単元の実技テスト、定期考査等
思考・判断・表現	ワークシートの内容、授業中の発言等
主体的に学習に取り組む態度	授業への取組（ワークシートへの記入、授業態度等）

技術科 第3学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
技術・家庭 技術分野 (開隆堂)	技家ノート 技術分野 (開隆堂)

1. 目標

- ・学んだことがらと生活とのかかわりを考え、生活に生かそうとする態度を身に付けよう。
- ・学んだ知識と技術の活用場面や活用方法を考える力を身に付けよう。
- ・学んだ知識と技術を生活の場で活用する力を身に付けよう。
- ・学んだことがらと生活とのかかわりを理解する力を身に付けよう。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学 期	4	「情報に関する技術」	
	5	(1) 情報とわたしたちの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの構成と基本的な情報利用の仕組みを知ること。 ・コンピュータの情報処理の方法を知ること。 ・情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを知ること。 ・ネットワークの危険性や、それを守るセキュリティの仕組みを知ること。
	6	(2) コンピュータと情報処理	
	7	(3) 情報通信ネットワークの利用	
	8	(4) ネットワークと情報セキュリティ	
9			
10			
2 学 期	10	(5) 情報モラルと知的財産	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考えること。 ・情報に関する技術の適切な評価・活用について考えること。
	11	(6) デジタル作品の設計と制作	
	12	(7) プログラムによる計測・制御	
	1	(8) 情報に関する技術とわたしたち	
	2		
3			

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	PC 操作, 製作品, 定期考査
思考・判断・表現	生活に生かす思考, プログラミング等の思考・判断・表現 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	授業への取組, 発表, 学習ノートやプリントの提出

家庭科 第3学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
技術・家庭 家庭分野 (開隆堂)	技家ノート家庭分野 (開隆堂)

1. 目標

- ・学んだことと生活とのかかわりを考え、生活に生かそうとする態度を身に付けよう。
- ・学んだ知識と技術の活用場面や活用方法を考え、より良い生活を工夫する力を身に付けよう。
- ・生活の自立に必要な基礎的・基本的な技術を身に付けよう。
- ・生活に自立に必要な基礎的・基本的な知識を身に付けよう。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学 期	4・5	A「家族・家庭生活」	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解する。 ・幼児の心身の発達を自分の成長と照らし合わせながら理解する。 ・幼児の遊びの理解を深める。
	6	「幼児の生活と家族」	
	7	「幼児の生活と遊び」	
	8	①わたしの成長をたどる	
	9	②幼児の体の発達 ③幼児の心の発達	
2 学 期	10	④幼児の心身の発達と家族の役割 ⑤幼児の遊びと発達 ⑥おもちゃ制作	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児との触れ合い体験に向け、手縫いによるフェルトの玩具を作成することができる。 ・幼児との触れ合いを通して、幼児の成長や特徴について理解し、自分のかかわりについて考える。 ・これからの自分と家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をより良くする方法を考える。 ・自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解する。 ・販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができる。
	11		
	12	②幼児のおやつを作ろう	
	1	「これからのわたしと家族」	
	2		
	3		

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	手縫いによる玩具の製作, 定期考査
思考・判断・表現	幼児期の特徴を理解し, 幼児の喜ぶ玩具制作の計画, 幼児とのかかわり方, 消費生活を工夫する思考等 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	授業への取組, 発表, 学習ノートやプリントの提出